

被災地や放射性物質が出ている地域の方々の除染のお手伝いに「ナノ銀担持サンプル」を無償提供しています。

特に福島県内の放射性物質線量が高い方々から線量が下がらないと言うお言葉を頂きますが、実は、その散布した箇所は間違いなく放射線量は下がっています。

空間線量や土壌線量が高いために線量計が回りの放射性物質と一緒に計っている場合もあります（放射性物質の計測専門の方々に聞けば同じ意見だと思います）。

通常値の放射線量から現在の空間線量等を差し引く方法もありますが、本来ならばナノ銀を撒く前の放射線量を計測し、ナノ銀を散布した後の土壌を遮蔽された環境下で計測すれば、放射線量が下がっている事に驚く筈です。

水や高圧洗浄した後の処理水はそのまま地下に垂れ流しでは話になりません。

地下水は飲料水にもなり、農作物の源にもなり、最終的には海に流れます。放射性物質はかなりの濃度に上がり、食物連鎖が生まれます。これを一日でも早く解決出来るのもナノ銀担持骨炭等です。簡単な濾過装置を設置し、そこに放射性物質の汚染水が通過する事で約88%放射性物質を除去出来ます。東京都水道局でも現存の濾材よりも効果があると立証しました。

放射性物質は下がらないと言うのが世界的に定説ですが、ナノ銀の作用で半減期だと思われる様に速やかに実行出来るのです。

眉唾、ウソと疑う人は是非とも板橋区ホテル生態環境観に来て下さい。

実際にその眼で見て感じて頂ければ幸いです。ホテルには「本物」が存在します。国の研究所や大企業も出来ないから所詮無理と言う認識は捨て去るべきです。

放射性物質は元の原子に戻ろうとし、その際に悪い放射性を出しています。そのお手伝いをするのがナノ銀です。放射能等の専門の先生に是非とも立証して頂きたいです。

問題になっている放射性物質は原子核の陽子と中性子数がアンバランスになった物質です。ナノ銀はそのアンバランスを整える役割です。早い話、半減期(放射性物質は、放射線を放出し、別の原子へ、やがて放射線を出さなくなる)に近づける役割です。

具体的に話しますと、ナノ銀自体プラス800ミリボルト、マイナス800ミリボルト、計1600ミリボルトを一秒間に100万回入れ替わっています。

放射線もエネルギーですので、エネルギーの強弱はあるものの、短期間で、ナノ銀エネルギーに打ち消されます。

例えば、通常使用されているヨウ素127は、原子核と陽子と中性子を足した数が127個、周りを回っている電子の数は陽子と同じく53個という安定した物質です。一方、ヨウ素131は、ヨウ素127より中性子が4つ多く不安定な状態。このような物質を放射性同位体と呼びます。放射性同位体は、放射線を放出して、元の安定した元素になろうとします。この際に放射線出し、人間を初め生態系に悪影響を及ぼします。

除染等で作業を行っている方々の衣服やヘルメット等にナノ銀溶液を散布すれば、作業時間は2倍近く長くなると思われます。

問い合わせ 板橋区ホタル生態環境館

hotaru@ita.ed.jp

1. 今までは蛇口をひねれば水が安心安全に飲めると言うのは神話になりつつあります。
2. ホタルは安心安全な水しか棲めません。
3. 放射性物質等があれば生息は不可能です。
4. ルシフェリンやルシフェラーゼなどの発光物質や酵素は放射能に敏感です。
5. 放射性物質は発光組織を破壊します。
6. ホタルが舞う環境は、水も土も植物、生息空間全てが綺麗である証拠になります。

公開日	火曜日～金曜日 13:00～16:00 土・日曜日、祝日 10:00～16:00
休館日	月曜日・12月28日～1月4日 (月曜日が祝日の場合は、火曜日が休館日となります。) なお平成23年度夜間特別公開の準備等のため、6月13日(月)から7月23日(土)までお休みとさせていただきます。
見学料	無料
展示内容	ホタル生態水槽 ・「せせらぎ」・水生昆虫水槽 ・生態写真等
交通案内	●地下鉄都営三田線新高島平駅下車徒歩5分 ●東武東上線成増駅下車バス(高島平操車場行き)高島平四丁目下車すぐ前
問い合わせ	<u>板橋区立 エコポリスセンター</u> 03-5970-5001